

一誌一句(受贈誌2・3月号他より)

米田透抄出

夜食とるラーメン分の本どかす

(海光)

林誠司

キーボードFの真上を冬の蟻

(藍)

花谷清

開戦日ころばぬやうに九段坂

(爽樹)

河瀬俊彦

紅葉且つ散る減便のバス路線

(春塘)

清水和代

花丸を付けてやりたき冬の月

(水明)

山本鬼之介

ぼろ市やバッテリー一本買ひしのみ

(初蝶)

中山和子

一湾は光の器初日燦

(煌星)

石井いさお

輪島塗の椀を眺めつ一月尽

(獅林)

梶谷予人

凍空や砂に竜紋見え始め

(麦)

対馬康子

包丁が冬至南瓜に噛まれたり

(顔)

川村智香子